



# 所沢市市民医療センター 再整備基本計画【概要版】

## 再整備基本計画策定の経緯

昭和51年に開設した所沢市市民医療センターは、施設・設備の老朽化が顕著であり、良好な医療環境を確保するためには、大規模な改修が必要となっています。一方、少子高齢化の進行や保健医療圏域における医療体制、感染症の流行等、地域の医療を取り巻く環境や公立病院として担うべき役割も大きく変化してきました。このような状況を踏まえ、令和4年3月に「所沢市市民医療センター再整備基本構想」として当センターの現状と課題を整理し、医療政策の動向、地域医療の現状等を勘案した再整備に係る基本的な考え方を取りまとめました。

「所沢市市民医療センター再整備基本計画」は、基本構想を踏まえ、新病院で実施する医療機能や施設整備計画、事業収支計画等について、所沢市市民医療センター運営委員会や市民説明会を開催して外部のご意見を伺いながら、令和4年度及び5年度の2か年をかけて策定したものです。

## 再整備の基本的な考え方

### ■ 公立病院としての役割

埼玉県西部保健医療圏及び所沢市において、「医療供給が不足している分野」や「不採算・特殊部門等、公立病院でなければ対応が難しい機能」を中心に、地域に求められる役割を果たすことを念頭に置いて検討を進めました。また、所沢市の医療政策として力を入れるべきと考える機能については、積極的に取り入れることとしました。

### ■ 地域の医療機関との連携及び機能の分担

当センターで担うべき機能と地域の医療機関に任せた方が効率的である機能を区分し、地域の医療機関と連携し、機能を分担することで、限られた医療資源の効率化を図る方向で検討を進めました。

### ■ 過大な財政負担の抑制

所沢市の財政状況を踏まえたコスト意識を持ち、再整備後に必要と考える医療機能と、それを実現するための市の負担を勘案し、将来的に過大な財政負担を招くことのないように検討を進めました。

### ■ 経営強化プランとの連携

総務省の「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、令和6～9年度を対象期間とした「所沢市市民医療センター経営強化プラン」を策定しました。

本基本計画は「所沢市市民医療センター経営強化プラン」における取組を継承する形とし、経営の強化に努めていきます。

## 新病院で実施する医療機能

### ■内科入院

- ・現在の49床を維持するとともに、平時から感染症に備える体制を確保します。
- ・在宅復帰に向けたリハビリなどを行う地域包括ケア病床を増床します。

病床数	一般病床(急性期病床)	地域包括ケア病床(回復期病床)
現在	36床	13床
再整備後	33床	16床

### ■内科外来

- ・一般内科外来を継続するとともに、地域のニーズの変化に合わせた診療科目及び診療時間を検討します。

### ■小児科

#### 初期救急

- ・市民ニーズの高い年末年始を含めた1年365日の小児初期救急医療体制を継続します。
- ・保護者の安心や子どもの心身にかかる負担軽減のため、すぐに帰宅させるにはリスクのある夜間急患診療時の救急患者について、明け方までの経過観察ができるよう体制を整備します。

#### 外来

- ・現在実施している一般小児科外来及び専門外来を継続します。

### ■健康検診

#### 人間ドック・特定検診等

- ・市民ニーズが高い健康検診事業を継続します。

#### 運用方法の改善

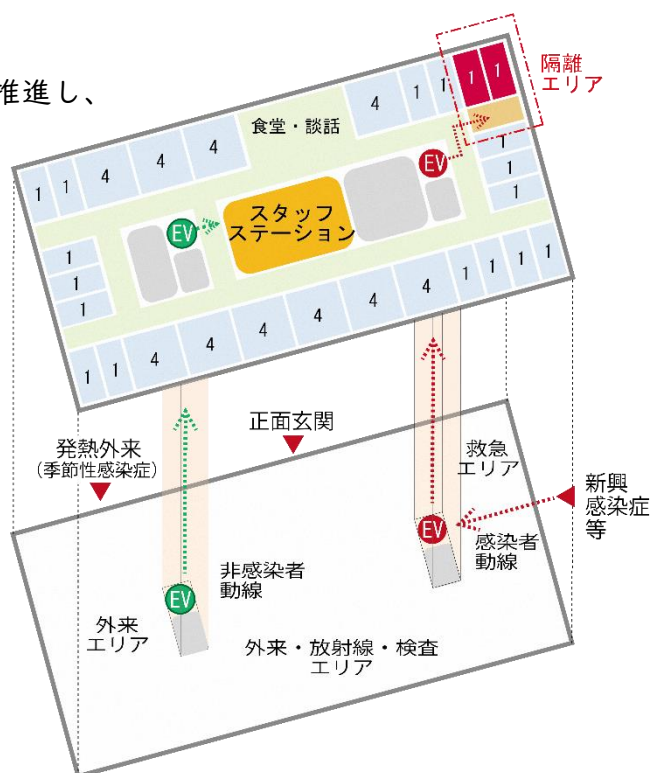
- ・WEB予約や健診結果のデータ配信などの取組を推進し、より使いやすい施設を目指します。
- ・女性が安心して受診できるようレディースデーを継続するとともに、レディースゾーンを設置します。

### ■感染症対応

- ・感染拡大時に感染者の受け入れができるよう明確なゾーニングができる病棟を整備します。
- ・一般患者との動線が交錯しないよう配慮した施設整備を行います。

### ■災害対応

- ・被災した近隣住民の一時受け入れを想定した施設整備を行います。



【感染症対応に係るゾーニングイメージ】

## 施設整備方針

### ■ 配置計画

- ・ 新病院は、提供する機能等を加味して、延べ床面積約 6,000 ㎡を目標面積とします。
- ・ 現在の病院機能を維持しながら建て替えを行うため、西側駐車場を中心に新病院を配置します。
- ・ 新病院は、整備後の近隣にお住まいの方の生活に可能な限り影響が生じないように、圧迫感を軽減する建物配置をはじめ、窓の位置やデザインに配慮した施設整備を行っていきます。
- ・ 敷地への主なアプローチは、周辺の道路状況や近隣住民の生活に配慮し、敷地南側の県道を想定します。
- ・ 来院者車両、救急車、サービス車両の動線を原則分離し、機能性と安全性に配慮します。
- ・ 現在の当センター解体後の跡地には、来院者に配慮した駐車場を整備します。

所在地	所沢市上安松 1224 番地の 1
敷地面積	22,575 ㎡
用途地域	第一種低層住居専用地域 (注：病院建設には建築審査会の承認を要する)
容積率 / 建ぺい率	100% / 60%
斜線制限	道路斜線：勾配 1.25m 適用距離 20m 北側斜線：勾配 1.25m 勾配の基点となる高さ 5m
日影規制	5mを超え 10mの範囲：4時間 10mを超える範囲：2.5時間 測定水平面 1.5m



### 施設整備に係る配慮事項

当センターは、本来「病院」の建設ができない第一種低層住居専用地域に所在しており、建て替えにあたっては建築審査会の同意が必要となるため、設計段階における十分な検討や事前相談などを重ねながら事業を進めていきます。

現在の駐車場の位置に新病院を建設する予定であるため、工事期間中の駐車場の確保も大きな課題となります。また、工事中の騒音や振動が、近隣にお住まいの方や事業者及び当センターの運営に影響を与えないよう配慮します。

## 新病院の整備方針（整備コンセプト）

### すべての人にやさしく利用しやすい病院

新病院は、今まで以上に市民に信頼され、市民に利用される病院づくりを目指します。プライバシー確保、ユニバーサルデザインの採用、バリアフリー化など利用者層に合わせた施設整備を行います。

### 医療の変化に柔軟に対応できる病院

新病院は、将来の多床室から個室への改修をはじめ、間仕切りを変更しやすい構造を採用するなど、医療制度や医療技術の変化への柔軟な対応が可能となるよう整備します。

### 感染症や災害に強い病院

新興感染症の流行時や災害発生時に、公立病院として求められる医療が提供できる病院を目指し、病棟のゾーニングや陰圧室の整備、耐震性の確保、被災住民の受入スペースの確保などを行います。

### 職員が働きやすい病院

診療に専念できる職場環境を整備し、優秀な医療従事者の安定的な確保と、人が育つ環境整備に努め、職員と患者の動線分離、会議室等の充実、職員休憩室の集約化などに配慮します。

### 経済性と環境に配慮した病院

長寿命化を図る構造、省エネ・創エネ設備の採用など、<sup>ライフサイクルコスト</sup>LCC 縮減におけた初期投資を検討します。

## 概算事業費

- ・ 建築単価については、建設業界の労働力不足や資材の高騰などの影響を受け、年々上昇しており、現時点での建築単価は他病院事例を踏まえ 65.0 万円/㎡(税込)と設定しました。

項目	対象経費	金額（税込）
建設工事費	病院本体建築費、外構工事費	42.5億円
調査費	測量費、地質調査費など	0.2億円
設計費	基本設計費、実施設計費	2.1億円
工事監理費	工事監理費	0.2億円
既存施設解体費	解体費	2.3億円
開院準備費		0.7億円
合計		48.0億円

## 新病院整備スケジュール

新病院整備事業は、「設計・施工分離発注方式」を採用し、以下のスケジュールを想定します。

令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)
基本設計	実施設計	建設工事			新病院 開院
					解体・外構工事